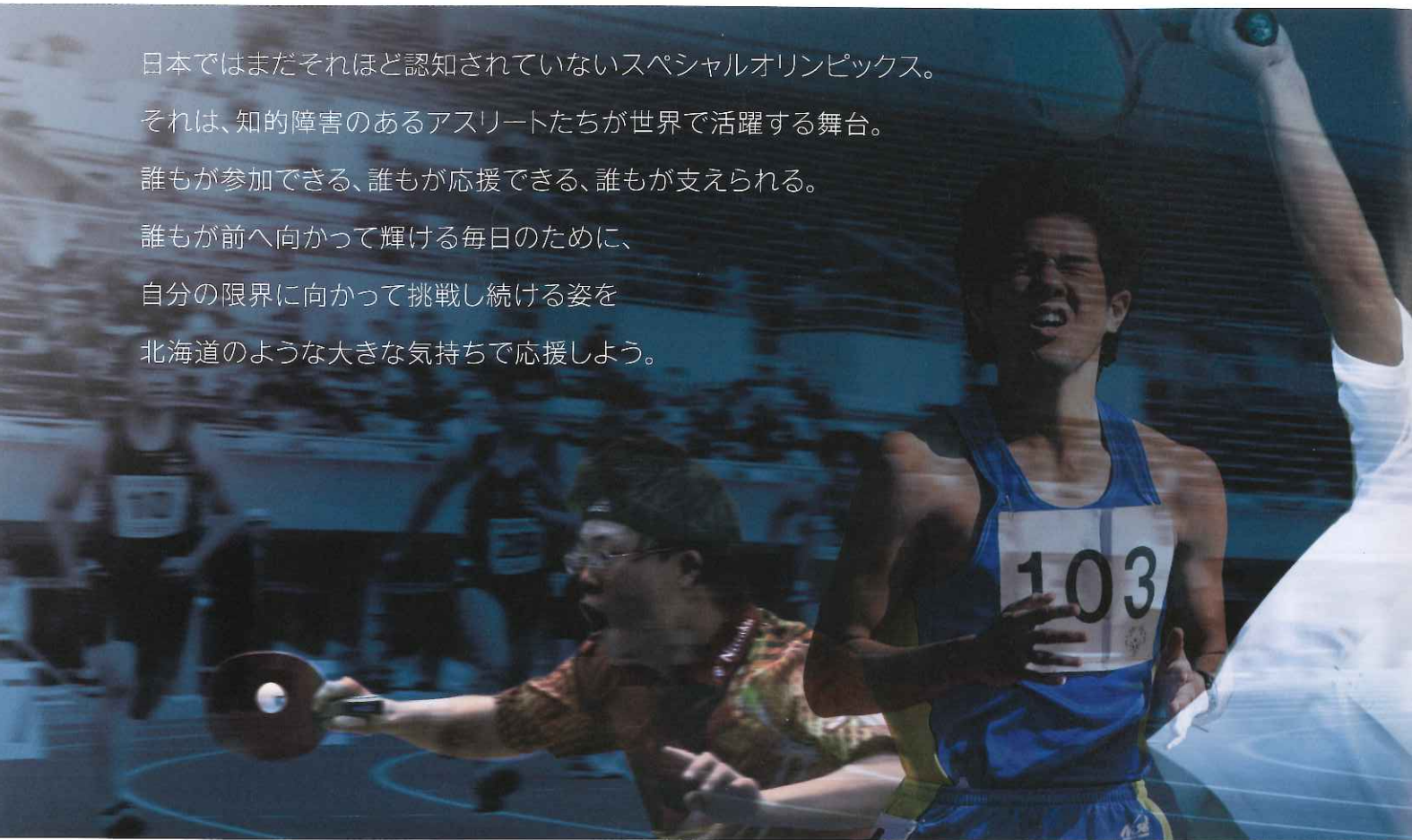


わたくしたちは、精一杯 力をだして勝利を
たとえ勝てなくとも、がんばる勇気をあたえ

目指します。

てください。スペシャルオリンピックスアスリート宣誓 / スペシャルオリンピックス日本アスリート訳

日本ではまだそれほど認知されていないスペシャルオリンピックス。
それは、知的障害のあるアスリートたちが世界で活躍する舞台。
誰もが参加できる、誰もが応援できる、誰もが支えられる。
誰もが前へ向かって輝ける毎日のために、
自分の限界に向かって挑戦し続ける姿を
北海道のような大きな気持ちで応援しよう。



Special Olympics (略称:SO) とは、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングと
その成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。
スペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する
知的障害のある人たちを「アスリート」と呼んでいます。

スポーツを通じて知的障害のある人たちの可能性を広げるというユニス・ケネディ・シュライバーの信念から生まれ、1968年から行われてきたスペシャルオリンピックスの活動は、現在172の国と地域で受け継がれ、日本での活動は2019年で25年目、そしてSON・北海道は20周年を迎えます。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けてスポーツの機運がさらに高まるこの潮流に乗り、私どもスペシャルオリンピックスも活動の輪をより飛躍的に広げ、障害の有無に関わらず、ともに育つ社会を目指して積極的に活動を行っていきたいと思っています。



公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 理事長 有森 裕子

1962年、故ケネディ大統領の妹である、ユニス・ケネディ・シュライバーは、姉に知的障害があったことがきっかけで、知的障害のある人々に向けてディキャンプを行いました。それがスペシャルオリンピックスの始まりです。



数年前にスペシャルオリンピックスに出会った私は、アスリートの「わたくしたちは、精一杯 力をだして勝利を目指します。たとえ勝てなくとも、がんばる勇気をあたえてください」という宣誓文を読んで、心を揺さぶられました。この宣誓文の想いは、教育者として私が歩んで

きた道に通じるものがあり、ぜひ彼らが本来持っている能力や可能性を発揮するための支援をしてゆきたいと思ったのです。微力ではありますが、ともに笑顔で、誰もが命を輝かせて生きてゆける社会の実現を目指して歩んでゆきたいと思います。



特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・北海道 理事長 池上 喜重子



今日よりも明日へ。
前へ向かうその姿、誇りとなる。



今の自分を十分

コミュニティとつながる 日常的なスポーツ トレーニングプログラム

アスリートと同じ地域に住むボランティアが運営・コーチを務め、スポーツを楽しむのが基本方針のプログラム。アスリートはチャレンジする勇気を身につけ達成する喜びを知り、ボランティアは知的障害に対する理解を深めるなど、コミュニティとの結びつきがより強固になっていきます。

公平に競い、最後

「S」がつく理由がある

スペシャルオリンピックスの名称が複数形で表されているのは、大会に限らず、日常的なスポーツトレーニングから世界大会まで、様々な活動が年間を通じて、世界中で行われていることを意味しています。

オリンピック同様、4年に1度夏季・冬季に開催される世界大会に、スペシャルオリンピックス日本(略称:SONJ)は日本選手団を派遣します。海外のアスリートから学ぶ技術や、新たな目標など、この大会を通じて多くのことを得ることができます。



に発揮できるステージへ。

水泳のプログラムの場合

- STEP1 着替える
- STEP2 シャワーを浴びる
- STEP3 プールに入る
- STEP4 水の中を歩く
- STEP5 ビート板で泳ぐ

上記のように、少しずつ、一人ひとりに合わせたプログラムを進めます。

までやり抜くこと。

ユニファイドスポーツ

ユニファイドスポーツとは、知的障害のある人と知的障害のない人が混合チームを作り、練習や試合を行い、スポーツを通じてお互いに相手の個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取り組みです。

障害の有無を越え、スポーツを通じて喜びや悔しさ、達成感など様々な経験を共有することにより、お互いの理解を深め、友情を育むことを目指しており、社会的インクルージョンの実現を促進することを目標としています。



アスリート一人ひとりの 能力に合わせた 競技環境を構築

スペシャルオリンピックスの競技会では、可能な限り同程度の競技能力のアスリートが競技できるよう、性別、年齢、競技能力などによってグループ分け(ディビジョニング)を行います。これにより、自分の現在の能力を十分に発揮し、一番輝く機会を得られると考えています。



スポーツプログラム

アスリート自身がやりたいスポーツを選べるよう、夏季21競技(準公式除く)、冬季8競技の全29競技を実施しています。

障害の程度や競技能力にかかわらず、より多くの人が参加できるよう個人技能競技等の種目を設けています。

実施競技種目は国によって異なります。日本で行われている競技は次の通りです。

- 夏季公式競技 / 競泳、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボッチ(SOボッチャ)、ボウリング、自転車、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技、柔道、ソフトボール、卓球、テニス、バレーボール
- 夏季準公式競技 / フライングディスク

- 冬季公式競技 / アルペンスキー、クロスカントリースキー、フィギュアスケート、フロアホッケー、スノーシューイング、スノーボード、ショートトラックスピードスケート

※2017年末現在。



私たちは、あなたの参加と
寄付・協力に支えられています。



あなたの参加が

アスリートとして参加する

スペシャルオリンピックスでは、アスリートのチャレンジを様々なスポーツプログラムで支援しています。

知的障害のある6歳以上の方であれば、誰でも「アスリート」として参加が可能です（競技会への参加は8歳から）。スポーツに興味のある方も、苦手という方もまずは気軽にご参加ください。

皆様の支援がと

SON・北海道を支援する

SON・北海道は、皆様のご寄付や企業協賛によって支えられている非営利組織です。全国大会の開催、世界大会への選手団派遣、ボランティアの育成のほか、アスリートの様々なチャレンジを支援するための研修などを実施しています。

資金面なら協力できる、物品なら提供できる、会場なら提供できるという個人・企業の方からのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

STEP1
お申込 SON・北海道
にお問合せ

問合せ
特定非営利活動法人
スペシャルオリンピッ
札幌市中央区南11条西1丁目

誰にとっても暮らしやすい社会へ。

ファミリーとして参加する

私たちはアスリートのご家族を「ファミリー」と呼んでいます。アスリートと一緒にスポーツを楽しんだり、新しいことにチャレンジするファミリーもまた、スペシャルオリンピックスを支える大切な一員。すべての皆様が参加者であり、日常のスポーツトレーニングから世界大会まで、ともに経験を重ねる中でお互いの可能性が広がっています。

ボランティアとして参加する

2017年度末現在、47都道府県で9,769人が参加して地域の活動を支えているボランティア。スポーツトレーニング・ボランティア、大会/イベントボランティア、事務局ボランティアなど、“自分のできる事を”、“できる時間内に”、“できる範囲”で行えます。競技経験は問いません、様々なスタイルでボランティアに参加しませんか？

ボランティア・コーチの育成

ボランティア・コーチとして参加する方のために、スペシャルオリンピックスの使命・歴史およびアスリートについて、また競技について学ぶ「コーチクリニック」を各地で開催しています。

また、日常的に地域のスポーツ施設などで、スポーツプログラム（スポーツトレーニング）を行っています。

びきりの笑顔を引き出す。

会員として支援

団体企業会員・個人会員とは、SON・北海道の趣旨に賛同し、活動を支える会費をご負担いただく会員です。

会員種別	団体企業会員	個人会員
入会金	10,000円	5,000円
年会費	10,000円	5,000円

寄付による支援

全国大会の開催、世界大会への日本選手団派遣、広報活動など、SON・北海道が現在取り組んでいる事業や、それを支える事務局運営などに活用させていただきます。

北洋銀行 北七条支店
普通預金 4060840
スペシャルオリンピックス
ニッポン・ホッカイドウ

※お振込後、お電話などでお名前、金額をお知らせください。



STEP2 SON・北海道
からご連絡

STEP3 SON・北海道
へお申込み

STEP4 SON・北海道
へ参加

ボランティアとして 個人・企業・団体の支援として

クス日本・北海道
5-16 カサウィスタリア304

TEL.011-215-0661 / FAX.011-215-0662
http://www.son-hokkaido.org/ son_hokkaido@son.or.jp